

読み語りは愛のプレゼント♡

学校司書 井上伴子

ダンボの会の皆様にはいつもお世話になっております。今年の4月から久手小学校で勤務させていただいております。『楽しい読み聞かせ(学校図書館入門シリーズ3)』という本の中に「読み聞かせは愛のプレゼント」という言葉が出てきます。とても素敵な表現だなあと読んで覚えています。久手小学校の子どもたちは、本好きな子が多く、本を借りて毎日多くの子が図書館へ来ます。皆さんが読んでくださった本が人気本となり、借りる順番を待っている子がたくさんいたり、「ダンボの会の人を読んでくれた本が読みたい」という子がいたりします。皆さんからたくさんの愛のプレゼントをもらっているからだなあと嬉しく思っております。読み聞かせをしていただくためには、選書や練習などご負担も多いと思いますが心を込めて読んでくださるお話は、子供たちにとって楽しい時間となるだけでなく、心の栄養になっていることと思います。久手っ子たちは毎週たくさんの愛のプレゼントをいただくことができ、とても幸せです。今後ともよろしくお願いたします。何かございましたら学校図書館にも、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

夏のお話し会

スウィートポテトの会の皆さんのお話し会が、久手マチセンで開催され、日本のお話し5話、外国のお話し5話の10話をお話しされましたが、何と言っても皆さんが全部を暗記されてお話しされているのには驚きました。ダンボの会の山崎さなえさんも「文福茶釜」を熱演され、1時半から3時までたっぷり物語の世界に浸らせていただき、楽しく心が遊びました。ダンボの会の皆さんも一度聞きにいかれると参考になると思います。



劇団あしびえ50周年記念公演「セロ弾きのゴーシュ」

6月18日松江市八雲町のしいの実シアターで「劇団あしびえ」による、「セロ弾きのゴーシュ」公演があり、山崎一功さんの車に乗って4人で観に行きました。風光明媚な小高い所にあり、身も心も洗われる思いがしました。満席で補助椅子も出されるほどでした。小さいお子様もたくさんおられましたが、皆静かに観賞されました。2月2日の久手小での公演も観ましたが、音響の違い等もありとても迫力があって感動しました。主演のゴーシュ役の人が仁摩出身の人と聞きビックリ!!

帰るとき出演者の人たちと握手させていただき感激で胸がいっぱいになりました。風土記の丘、松江城等も見学して帰りとても有意義な1日でした。

下垣八重子

松江城若武者隊と記念撮影



7月9日障がい者との体験ツアーで、広島ガラスの里、安佐動物園へ行ってきました。

仁摩高校、大田高校の生徒27名が参加しており、事前に研修があったのか、車椅子の押し方話しかけ方等慣れた様子でした。何より障がい者の方への優しさが感じられる付き添いで私の方が勉強させられました。ええど高校生色々な事で感激、感動した1日でした。 Yamasaki

放課後児童クラブで読み語りをします。

夏休み中：毎週木曜日10:00～(30分程度)
担当は決まっていますが、会員の方遊びに来てください。